問題１解答用紙



問題2

平成 28 年 11 月 9 日

日本文理大学 ＣＯＣ事業推進責任者

報道機関 各位

２０１６年度ものがたり観光行動学会 第６回年次大会・九州広域観光シンポジウム

『普段使いのローカル線「沿線の日常」が注目される観光の時代』の開催について

平素より本学の教育・研究活動に対して格別のご高配を賜り誠に有難うございます。

ＮＢＵは、平成 26 年度に文部科学省「地（知）の拠点整備事業 Center of Community（大学 COC 事業）」に採択され、地域をキャンパスに豊かな心と専門的課題解決力を持ち、地域の課題解決に取り組む人材である地域創生人＝「おおいた、つくりびと」の育成に取り組んでいます。

この地域課題解決への取り組みとして、「豊後大野市」をフィールドに学生活動を活発に行っており

ますが、その一環として、このたび、「ものがたり観光行動学会（白幡洋三郎会長）」と本学の主催により、ＪＲ豊肥本線を中心とした豊後大野市の観光活性化の可能性／ＪＲ豊肥本線の大分県側の観光価値を探るシンポジウムを開催することとなりました。

シンポジウムでは、本学学生の豊後大野市での研究活動報告を皮切りに、ＪＲ九州の青柳社長による基調講演、この領域のスペシャリスト等を集めたパネルディスカッションを予定しております。

ご多忙の折、誠に恐縮ですが、観光県である大分の可能性を広げる本シンポジウムの様子を取材いただければ幸いです。

記

【シンポジウム】

・日時 ： 平成２８年１１月１９日（土）１２時３０分～１７時００分

・場所 ： 大分銀行 宗麟館２階 ソーリンスクエア

・内容 ： 研究発表（学会員２件、本学教員・学生発表１件）

基調講演（ＪＲ九州 代表取締役社長 青柳 俊彦 氏）

パネルディスカッション（コーディネーター・パネリストは別紙）他

以上